事例No.	2120
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	岡山県岡山市

事例区分	DX

タグ	・観光 ・ICT ・関係人口

事例種類	文化・スポーツ

事例内容・タイトル

CG・VR技術を活用して「備中高松城の戦い」を再現

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

140 CG・VR技術を活用して「備中高松城の戦い」を再現【岡山県岡山市】

事業の概要

○　岡山市では、令和4年度に実施される岡山デスティネーションキャンペーン(岡山DC)の実施に伴い、市のPRの一つとして、「備中高松城の戦い」(※)をCG技術及びVR技術を活用し、再現する取組を行っている。

○　CG技術により単に城を復元するのではなく、VR技術と組み合わせることにより、戦いにまつわる数々のドラマを再現し、地域の歴史に触れる機会を持ってもらうという狙いがある。

○　また、コンテンツが完成した際には、ホームページに公開するなどして、市の観光誘客につなげていくこととしている。

※　戦国時代に行われた豊臣秀吉率いる織田軍と毛利軍の戦い。織田軍の水攻めが有名。

※　備中高松城は、現在現存していない。



【参考情報】 人口：70.8万人
関連URL：　ー

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



史上類を見ない、“成功した水攻め”の舞台となり、天下を左右する歴史の転換点を改めて知ることで、備中高松城への関心を高めてもらいたいと考えたからです。

（岡山市）



事業の近況を教えてください。



令和４年６月より、ホームページにて公開をしました。VRは、現実に近い形で、再現できたと考えています。今後、VRコンテンツを通じて備中高松城の歴史的価値を内外に発信するとともに、現地で体験できる着地型コンテンツを併せて整備することで、観光誘客の促進につなげていきたいです。



VRの活用を促進する上での工夫を教えてください。



多言語（５か国語）に対応することで、多くの方に見ていただけるようなものにし、インバウンドの取り込みを目指しています。

★担当：岡山市産業観光局観光部 観光振興課★

令和3年度事業費　25,519千円